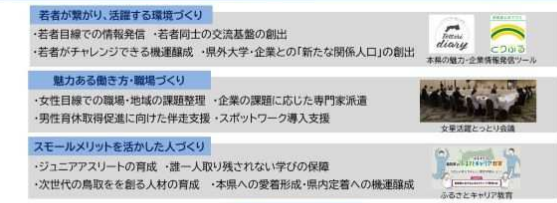


新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）令和7年度第1回募集申請事業

事業概要【若者・女性にも選ばれるとっとりづくり事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	724,210千円 （243,225千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 多様な働き方を県内に広げることにより若者や女性の県内就職・定着に繋げ、地域の担い手不足の解消を図る。 - 若者目線で県の施策を再構築し、将来にわたって魅力ある鳥取県の形成を目指す。 - 子どもたちが他者と協働して自ら課題を解決する力を身に着けるため、将来地域を支える人材の育成を図る。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○若者が繋がり、活躍する環境づくりに関する事業 - 県内の企業情報や魅力の発信（委託料）39,000千円 - 若者の発想による地域づくり推進（報償費、委託料等）27,770千円 ○魅力ある働き方・職場づくりに関する事業 - 多様な働き方導入に向けた専門家派遣（委託料）10,693千円 - リモートワーカーの育成や就労支援（委託料）20,605千円 ○スモールメリットを活かした人づくりに関する事業 - ふるさとキャリア教育の推進（委託料等）12,425千円 - 高校魅力化の推進（補助金）11,165千円					若者・女性にも選ばれるとっとりづくり  男性育児休業取得率の向上や多様な働き方が県内企業に普及 若者やあらゆる世代の人々が、より良い地域を目指して主体的に活動 若者を中心とした幅広い層の多様な提言・提言を収集、若者目線の施策 若者が繋がり、活躍する環境づくり ・若者目線での情報発信・若者同士の交流基盤の創出 ・若者がチャレンジできる機運醸成・県外大学・企業との「新たな関係人口」の創出 本県の魅力・企業情報発信ツール 魅力ある働き方・職場づくり ・女性目線での職場・地域の課題整理・企業の課題に応じた専門家派遣 ・男性育児取得促進に向けた伴走支援・スポットワーク導入支援 企業活躍とつとてり高橋 スモールメリットを活かした人づくり ・ジュニアアスリートの育成・誰一人取り残されない学びの保障 ・次世代の鳥取を創る人材の育成・本県への愛着形成・県内定着への機運醸成 ふるさとキャリア教育 若者や女性の県内就職・定着 地域の担い手不足の解消 魅力ある鳥取県の形成	
地域の多様な主体の参画	各商工団体と協働で新しい働き方の導入や働きやすい職場づくり等に取り組むことで、多様な働き方の実現と県内の長期的な人材確保に繋げる。若者と県内企業や大学等の教育機関との交流を深めたり、学生の地域との関わりを増やすことで、若者の県内定着に繋げる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間U I Jターン数（+639人） ②イクボス・ファミボス宣言企業数（+213社） ③「将来は今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」高校生の割合（+3.54%）

事業概要【次世代を担うスーパー種雄牛事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	558,616千円 （26,695千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産（しごと創生）
目的・効果	「和牛といえば鳥取」と呼ばれる産地への更なる飛躍を目指し、優秀な種雄牛の造成及び活用によって和牛の改良と振興を図ることで、収益性の高い畜産経営を実現し、農林水産業の更なる活性化を図る。 - 肉質日本一となった「白鵬85の3」につづく、次世代のスーパー種雄牛を効率的に造成するため、研究体制や種雄牛・改良の基幹となる優良種雄牛の生産・管理体制等を構築する。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	「和牛王国とっとり」を再度復活し、鳥取県の畜産を元気にして全国に発信するため、 ✓「白鵬85の3」のような全国に誇る種雄牛を作るための研究能力を高める。 ✓猛暑や寒冷による種雄牛の体調変動を最小限にし病気にかかりにくい牛舎を整備する。 【ソフト事業経費】 ○次世代のスーパー種雄牛造成事業 - 県内雌牛全頭ゲノム検査費用（需用費）1,000千円 - 雄牛購入（備品購入費）12,000千円 - 受精卵ゲノム分析費用（需用費）3,600千円 【拠点整備事業経費】 ○現牛舎の解体設計、基本設計 - 施設整備 9,663千円					次世代を担うスーパー種雄牛  【現在の鳥取県産和牛】 ・スーパー種雄牛「白鵬85の3」 ・全国和牛能力共進会肉質日本一 ・牛価格が全国トップクラス 鳥取県和牛振興計画 さらにステップアップして「和牛といえば鳥取」と呼ばれる産地を目指す！ 猛暑や寒冷による影響が最小限となり、効率よく優秀な「種雄牛をつくる」ための繁殖雌牛牛舎や「種雄牛を活かす」種雄牛舎棟の整備。 全国に先駆けて進めてきた和牛のゲノム分析や和牛肉のおいしさの研究の成果などをより効果的に種雄牛造成や精液供給などに活かす。	
地域の多様な主体の参画	大学や(独)家畜改良センターから種雄牛と繁殖雌牛の飼養管理方法等に係る、より実践的な助言を基に、飼養管理体制の高度化に向けた環境整備を進める。 高能力種雄牛の造成や研究体制等について、鳥取県内のJA等と連携して検討を進め、種雄牛造成や県内雌牛の改良を加速化させることで、「鳥取和牛」のブランド価値を高め、持続的農業の発展に繋げていく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+207億円） ②鳥取県畜産試験場の精液販売収入（+118,050千円） ③鳥取県のと牛生産頭数（+1,150頭） ④鳥取県のと牛せり市場の年間総販売額（+1,312百万円）

事業概要【 Welcome ようこそ Manga kingdom まんが王国とっとり再建物語事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	944,866千円 (315,622千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光振興（しごと創生）
目的・効果	- 鳥取県出身の漫画家、水木しげる氏（「ゲゲゲの鬼太郎」の作者）と青山剛昌氏（「名探偵コナン」の作者）の世界観を推す県内の観光地の取組に加え、そのほかのまんが・アニメのコンテンツを活かした取組を加速させる。 - 県民が本県に愛着と誇りをもち、地域の魅力向上に向けた主体的な観光振興策の創出を図る。 - 地域一体となった観光地づくりを実現し、「持続可能」で「高付加価値」な地域社会・経済の好循環を目指す。 - 観光ブランドイメージの形成・定着や、魅力ある観光素材の磨き上げ等により交流・観光人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○まんがを活かした魅力の向上・誘客事業 ・アニメツーリズムの促進（補助金）10,000千円 ・観光誘客に取り組むための補助金の充実（補助金）20,000千円 ○ターゲットを定めた効果的なPRによる知名度向上 ・まんが人気が高い台湾や香港でのまんが・アニメイベントへの出展 ・旬の情報発信（委託料）20,000千円 ・県西部の空港から国際定期便が就航する東アジアでの誘客プロモーションの強化（委託料）174,500千円 ・新たな市場の開拓に向けた海外での誘客戦略 ○鳥取県ならではの観光素材を活かした「稼げる観光産業」の実現 ・鳥取県内の自然や文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進（委託料）15,000千円 ・サイクリングツーリズムの定着に向けたシェアサイクル・レンタサイクルの拠点整備（補助金）5,000千円 ・誘客促進イベント支援（補助金）15,000千円					Welcome ようこそ Manga Kingdom まんが王国とっとり再建物語 まんが・アニメを活かした 観光誘客 県内出身の漫画家の作品や県内を舞台にしたアニメなどをテーマにしたイベントなどを開催を支援  効果的なPRによる 知名度向上 本県から直行便がある、香港や台湾等の東アジアをターゲットとした観光情報の発信  観光素材を活かした 稼げる観光産業 本県の雄大な自然や食、温泉など豊富な観光資源、自然環境を活かしたアウトドアなどのアドベンチャーツーリズム  ・日帰り観光から宿泊観光への転換 ・宿泊費や飲食費など消費額の拡大 観光産業の高付加価値化による地域社会・経済の好循環	
地域の多様な 主体の参画	観光関係団体や新聞社等と連携し、まんが・アニメと本県の観光を結び付けたプロモーションを展開するとともに、旅行商品の造成やSNSによる情報発信の強化、国内外での鳥取県の認知度を高める。 地域においても鳥取県の魅力ある観光資源の価値を再認識し、その魅力を伝えることで、県全体で観光振興に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（実人数）（+1,305人） ②宿泊者数（実人数）（+937千人） ③県外客の来訪回数（3回以上の割合）（+4.2%） ④外国人延べ宿泊者数（+229千人泊）

3

事業概要【令和7年開館！鳥取県立美術館を拠点としたアート・文化振興】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	590,334千円 (202,834千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり
目的・効果	- 県立美術館を核として鑑賞や創作活動、発表などの場を提供する。 - 子どもたちの豊かな感性や創造性を育むとともに、将来性のある若い活動者等の活躍を支援する。 - 新たに開館する県立美術館を中心としたアートや地域の文化資源を積極的に活用し、人や地域をつなげ、活力ある豊かな地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	県立美術館開館を契機とした各種事業を展開し、アート振興と誘客を促進し、地域の賑わい創出を図っていく 【ソフト事業経費】 ○文化芸術に親しむ環境づくり ・県立美術館での大規模企画展開催、リピート来場者定着（報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料等）107,369千円 ・多様な発表や鑑賞の機会の提供（委託料）16,447千円 ○次世代の文化芸術を担う人材育成 ・作品展示・舞台公演の補助（会場費、印刷費等）1,600千円 ・文化芸術活動推進に向けた外部講師の招へい（講師謝金、旅費、会場費等）1,300千円 ○文化・芸術資源を活用した賑わい創出 ・県立美術館開館の県外向けプロモーションの実施（委託料）16,000千円 ・県立美術館開館を契機とした地域の文化資源の知名度向上と誘客促進に向けたプロモーション実施（委託料、旅費、報酬、報償費）4,963千円					県立美術館を拠点としたアート・文化振興 ・県立美術館を核として、活気ある地域づくりを推進 ・心豊かで潤いのある県民生活の実現を目指す  令和7年3月30日開館した県立美術館  館内のカフェスペース  作品やアーティストと出会う アート・ラーニング・ラボ(イメージ)	
地域の多様な 主体の参画	旅行事業者や県文化振興財団と連携して、県内の文化・芸術資源を活用したキャンペーンやイベントを実施するとともに、県内学校や文化団体も参画することにより、地域の賑わい創出やアートに親しむ環境づくりを促進する。 文化団体や地元メディアと連携し、アート振興や県内外からの誘客促進に向けて、効果的な情報発信を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当該事業に係る関係人口数（「ふるさと来LOVEとっとり」メンバー数）（+300人） ②鳥取県の文化的な環境に満足している者の割合（+4.5%） ③児童・生徒を対象とした文化芸術鑑賞等への参加学校の割合（+4.7%）

4

事業概要【地域産業の成長力強化・雇用の創出事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	787,322千円 (245,214千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション
目的・効果	- ものづくり・食品加工産業などの基盤的産業の成長、新産業の創出、地場産業を担う小規模事業者の経営力強化等の多面的な取組を展開することで、県内産業の持続的な発展を加速させる。 - 深刻化する人材不足を解消するため、職場環境の整備など多様な人材活用、成長分野の人材育成等に取り組み、県内産業を支える人づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【県内企業の競争力強化事業経費】 ○企業のDX実装支援（補助金）20,000千円 ○企業の生成AI等活用促進事業 ・専門家等による個別支援、セミナー開催（委託料）16,500千円 ○サプライチェーン再構築、海外からの受注拡大等の企業支援（補助金）10,000千円 【新たな成長産業創出事業経費】 ○鳥取砂丘月面実証フィールドを活用した宇宙ビジネスの創出 ・発信・利用促進（委託料）14,900千円 ・宇宙産業人材育成（委託料）6,500千円 【人材確保・育成事業経費】 ○都市部からの人材の獲得・活用 ・キャリアシフト希望者向け合同企業説明会（委託料）9,000千円 ○外国人材の獲得・活用支援（委託料）4,220千円					 鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」を活用して宇宙ビジネスを推進し、地域産業の成長・創出を目指す	
地域の多様な 主体の参画	若者団体や日本労働組合総連合会鳥取県連合会から人材確保や経営支援の視点から助言をいただき、若者を中心とした人材確保に繋がる支援を行う。 商工会議所等からKPI達成に向けた助言や各企業等へのセミナー・支援制度の紹介を通して、県内事業者が新たな事業を展開できる場の創出・企業の経営力強化を支援するとともに、新聞社等と連携したイベントやキャンペーンに関する情報発信に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+960人） ②経営改善計画の策定件数（+75件） ③新たな産業分野における事業化件数（+45件）

5

事業概要【付加価値創出に向けた農林水産業の振興】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	992,057千円 (368,257千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産（しごと創生）
目的・効果	- 産地主体の後継者育成・確保体制を整備し、新規就農者の大幅増加を目指す。 - 省力化技術の普及や農地集積、品種転換を進め、収益性向上を図る。 - 県産品の認知度を向上させ、付加価値の創出を図る。 - 農業の収益力を強化し、雇用創出に伴う税収の増加に繋がる好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○収益力向上事業 ・集落農業組織による地域計画実現に向けた支援（補助金）2,000千円 ・水田農業の自動操舵の機能向上調査研究（委託料、有識者招致にかかる謝金及び旅費）10,606千円 ○農産物の販路拡大・輸出促進事業 ・県産食品の輸出強化プロモーション（委託料）29,446千円 ・県外観光客への県産食材PR（委託料）68,073千円 ○担い手確保・育成推進事業 ・コーディネータの配置及び外国人材の管理費等支援（委託料）15,618千円 ・連携拡大推進員の設置支援 4,770千円 【施設設備・事業設備・備品経費】 ○主要園芸品目の生産性向上や産地規模拡大 24,309千円 ○作業場及び酪農・養豚・鶏の暑熱対策への支援 26,438千円 等					 柿（輝太郎） 梨（新甘泉） 鳥取和牛オレイン55 いちご（とっておき）	
地域の多様な 主体の参画	鳥取県農業協同組合中央会等と共同で生産者への営農指導・技術交流、機械施設の整備、販路開拓等を行うとともに、新聞社等と連携し、県産品のPRを強化することで販路拡大・収益性の向上を図る。 担い手育成機構等から助言をいただきながら、担い手・新規就農者の確保・育成などに取り組む経費の支援を行い、新規就農者の増加や人材育成を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業生産額（+72億円） ②認定農業者等数（+15人） ③農林水産物等の輸出入額（+4.5億円） ④鳥取型低コストハウス導入面積（+3.6ha）

6

事業概要【みるくサプライチェーン強化事業】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	261,410千円 (254,743千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	- 県内で生産された生乳を原料とした高次加工品を増産することにより、酪農家の経営安定及び安定生産を図り、併せて県産牛乳の使用に特化した食事やソフトクリームを楽しむことのできるカフェや牛乳・乳製品の加工品等を購入できる畜産物加工展示施設を、大山地区のランドマークとして魅力のあるコンテンツを有した施設とし、インバウンド等により更なる観光客数の増加を図る。 - 発酵乳等仕向けの生乳を用いた乳製品製造量を増加させるため、製造工場において味覚センサーを導入し、新商品開発や技術の獲得・開発スピードの向上への支援を行い、県内酪農家の安定的な経営に向けたみるくサプライチェーン強化に寄与する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ○開設から25年以上が経過した「大山まきばみるくの里」は、施設のデザイン等が現在の観光客のニーズに合わないものとなっているため、施設のリニューアル改修を行い、快適な空間や誘客につながるコンテンツを整備する。 ○「大山まきばみるくの里」の観光施設としての魅力を向上させ、施設の来場者数の増加、乳製品の販売増加を図り、それに伴う県産乳製品のブランドイメージを向上させ、国内外での県産乳製品の販路拡大を実現する。 【拠点整備事業経費】 ○畜産物加工展示施設(大山まきばみるくの里)の改修 ・建築物本体工事 210,221千円 ・電気設備工事 39,732千円 ・工事監理費 4,790千円					みるくの里 リニューアル イメージ 	
地域の多様な 主体の参画	「大山まきばみるくの里」をリニューアルして、酪農専門農業協同組合と連携し、快適な空間や誘客につながるコンテンツを整備をする。 県内で生産された乳製品のブランド化や認知度向上を目指し、県内の高等教育機関やメディアとともに、商品開発や情報発信を促進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内の農業産出額（+161億円） ②アイスクリーム販売高（+14億円） ③みるくの里来場者数（+40万人）

7

事業概要【鳥取式・買物環境支援（安心して住み続けられるふるさとづくり）】

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	609,000千円 (203,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 市町村が主体となって行う買物環境確保施策を支援し、持続的な買物環境確保に努める。 - 生活機能の維持・確保や地域・集落基盤の創設・強化等、地域の実情に応じた安心して住み続けられるふるさとづくりを推進する。 - 人口減少や少子高齢化を背景に、県内全域で中山間地における安定した雇用環境の創出と担い手の確保、地域活力の低下が課題となっているため、それらを解消し、地域活力の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 地域や民間事業者と連携した先導的な取組や、地域が行う新たなふるさとづくりに対して市町村と連携して包括的に支援を行う。 ○買物環境確保に向けた事業に対する支援 ・市町村への補助金 100,000千円 ○安心して住み続けられるふるさとづくり事業への支援 ・市町村への補助金 100,000千円 ○特定地域づくり事業協同組合制度促進 ・アドバイザー業務の委託料 1,000千円 ○高校生が地域と連携して魅力発信 ・実行委員会への補助金2,000千円					安心して住み続けられる持続可能な地域へ！ 	
地域の多様な 主体の参画	持続的に安心して住み続けられるふるさとを実現するため、民間企業及び県内高等学校、地域運営組織等と連携し、施策を検討・実施する。 特定地域づくり事業協同組合の活用促進と安定した組合運営により、中山間地域における安定した雇用環境の創出と担い手確保を図り、地域活性化を進める。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①転出超過数（▲1,098人） ②新たな買物環境確保に関する取組件数（+10件） ③安心して住み続けられるための拠点づくりに取り組む地区数（+6地区）

8

デジタル田園都市国家構想交付金(令和5・6年度)採択事業の実績・効果

事業概要【プロフェッショナル人材戦略拠点事業】

令和5年度採択

事業計画期間	R5-R9年度				期間中の総事業費		432,244千円																							
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・プロフェッショナル人材事業型				事業分野		－																							
実績（R6）	○プロフェッショナル人材戦略拠点の設置・運営経費（委託） 31,980千円 ○都市部高度ビジネス人材の誘致事業（委託） 30,340千円 ・「鳥取県で週1副社長」 ・副業・兼業アクセラレータープログラム「とっとりメジャーリーグ」 ・副業・兼業サミット2024 ・ラジオ番組の放送 ・企業支援機関向けセミナー、講演会 ・副業兼業活用企業育成講座 ○ビジネス人材副業・兼業活用補助金（補助金） 1,068千円 等					兼業・副業の募集企業数・応募者数 6年連続全国第1位を更新中 都市部大企業に所属するビジネスパーソンが集結 ▼マッチング数 <table><tr><th>年度</th><th>マッチング数(人)</th><th>企業数(社)</th></tr><tr><td>2019年度</td><td>25人(14社)</td><td>74社</td></tr><tr><td>2020年度</td><td>93人(60社)</td><td>198社</td></tr><tr><td>2021年度</td><td>220人(124社)</td><td>360社</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>265人(162社)</td><td>543社</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>250人(183社)</td><td>853人</td></tr><tr><td>2024年度</td><td>327人(214社)</td><td>1,180人(副業人材) 757社(県内企業)</td></tr></table> 2019年度の開始以来、応募総数は約16,000人				年度	マッチング数(人)	企業数(社)	2019年度	25人(14社)	74社	2020年度	93人(60社)	198社	2021年度	220人(124社)	360社	2022年度	265人(162社)	543社	2023年度	250人(183社)	853人	2024年度	327人(214社)	1,180人(副業人材) 757社(県内企業)
						年度	マッチング数(人)	企業数(社)																						
2019年度	25人(14社)	74社																												
2020年度	93人(60社)	198社																												
2021年度	220人(124社)	360社																												
2022年度	265人(162社)	543社																												
2023年度	250人(183社)	853人																												
2024年度	327人(214社)	1,180人(副業人材) 757社(県内企業)																												
効果	・令和元年度から実施しているとっとり副業・兼業プロジェクト「週1副社長」では、これまでの6年間で延べ16,000人以上の応募があり、累計757社1,180人のマッチングが成立。2019年以降、兼業・副業の募集企業数、応募者数ともに6年連続全国第1位となった。																													
KPIの達成状況	指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和5年度） の増加分		2年目（令和6年度） の増加分		3年目（令和7年度） の増加分		4年目（令和8年度） の増加分		5年目（令和9年度） の増加分																		
				目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値																	
	①地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数	件	265	130	250	260	327	300	-	310	-	320	-																	
	②地域企業の経営課題に関する相談件数	件	1,125	600	1,824	1,500	1,882	1,500	-	1,500	-	1,500	-																	
	③副業・兼業による人材活用を行う企業数	社	162	130	183	180	214	190	-	200	-	210	-																	
	④地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数（うちデジタル分野）	件	0	20	46	40	32	50	-	60	-	70	-																	
	⑤「プロフェッショナル人材を副業・兼業人材として初めて活用する企業数	件		R7年度にKPIを追加					50	-	60	-	70	-																
R7年度以降の取組	・令和6年度に実施した「とっとりメジャーリーグ」をはじめ、引き続き副業・兼業に取り組む意向を持つ都市部ビジネス人材に対しても、これまでのマッチング事例や週1副社長が得るメリット等の情報発信を強化し、引き続き、高い専門性や豊富な経験を有する人材の誘致に取り組む。																													

事業概要【住み続けられる中山間地域創造事業】

令和6年度採択

事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	177,809千円																																																				
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野																																																				
実績（R6）	○中山間地住民に対する、新たな買い物弱者支援サービスの創造・地域DXの促進 ・様々なシステムデータを連携させるデジタル基盤環境の整備（委託）10,450千円 ○移住者増加を狙うPR動画の発信、県内の若い移住者等による若者目線の「とっとり暮らし」情報発信 ・動画作成費等（委託）3,950千円 ○林業技能職員のチェーンソー技術訓練、労災防止研修及び伐木競技者育成研修 ・研修費（委託）3,960千円 等	住み続けられる中山間地域創造事業 安心して住み続けられる中山間地域づくりに向け、地域に必要な生活基盤・サービスを提供する仕組みを形成し、それぞれの地域に合った人口減少に負けない地域づくりを強力に進める。 地域交通の確保向上 ○共助交通支援 ○AIオンデマンド交通の導入支援 ○ドライバー確保 医療体制の維持・強化 ○医療人材確保支援 ○訪問介護事業の安定確保 人材育成・人材確保 ○林業の担い手確保推進 ○特色を活かした学校の魅力向上 人口減少対策・移住定住 ○Uターン者の促進強化 ○移住暮らしの情報発信 ○ファミリーワーケーションの支援 持続可能な中山間地域づくり 中山間地域づくりを支援し、地域に合った「生活環境の維持」、「担い手確保」、「移住促進」等により豊かで住み続けられる中山間地へ 地域交通の確保 担い手確保 交流促進																																																					
効果	・地域の実情に応じた買物環境確保に向けた継続的な取組が進み、新しい動きも出てきている。 ・令和元年度から実施しているとっとり副業・兼業プロジェクト「週1副社長」は、兼業・副業の募集企業数、応募者数ともに6年連続全国第1位となった。 ・新規雇用対策や労働安全対策・福利厚生等の充実を進め、新規就労者の確保に繋げた。生産性の向上と人手不足の解消のため積極的にスマート林業の普及等を推進した。																																																						
KPIの達成状況	<table><tr><th rowspan="2">指標</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">事業開始前 (現時点)</th><th colspan="2">1年目（令和6年度）の増加分</th><th colspan="2">2年目（令和7年度）の増加分</th><th colspan="2">3年目（令和8年度）の増加分</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th></tr><tr><td>①地域へのUターン数</td><td>人</td><td>2,103</td><td>299</td><td>R7.7月頃とりまとめ予定</td><td>319</td><td>-</td><td>320</td><td>-</td></tr><tr><td>②買物環境確保計画の策定件数(累計)</td><td>件</td><td>10</td><td>6</td><td>19</td><td>3</td><td>-</td><td>2</td><td>-</td></tr><tr><td>③コミュニティ・ドライブ・シェアの取組エリア数(累計)</td><td>件</td><td>0</td><td>7</td><td>6</td><td>8</td><td>-</td><td>7</td><td>-</td></tr><tr><td>④林業への年間新規就業者数</td><td>人</td><td>39</td><td>50</td><td>46</td><td>55</td><td>-</td><td>55</td><td>-</td></tr></table>				指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分		2年目（令和7年度）の増加分		3年目（令和8年度）の増加分		目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	①地域へのUターン数	人	2,103	299	R7.7月頃とりまとめ予定	319	-	320	-	②買物環境確保計画の策定件数(累計)	件	10	6	19	3	-	2	-	③コミュニティ・ドライブ・シェアの取組エリア数(累計)	件	0	7	6	8	-	7	-	④林業への年間新規就業者数	人	39	50	46	55	-	55	-
指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分					2年目（令和7年度）の増加分		3年目（令和8年度）の増加分																																													
			目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値																																															
①地域へのUターン数	人	2,103	299	R7.7月頃とりまとめ予定	319	-	320	-																																															
②買物環境確保計画の策定件数(累計)	件	10	6	19	3	-	2	-																																															
③コミュニティ・ドライブ・シェアの取組エリア数(累計)	件	0	7	6	8	-	7	-																																															
④林業への年間新規就業者数	人	39	50	46	55	-	55	-																																															
R7年度以降の取組	・買物環境確保推進交付金により、引き続き市町村が主体的に行う買物環境確保に向けた事業に対して支援する。 ・引き続き若者目線で鳥取県の魅力を発信し、本県の知名度向上を図る。 ・「新しい林業」に対応したリスキング講座を開催し、戦略的・総括的な視点を持った本県林業DXの中核を担う人材の育成を図る。																																																						

事業概要【人口最少県が挑む！人手不足に打ち勝つ人材獲得・育成事業】

令和6年度採択

事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	362,270千円																																																								
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野																																																								
実績（R6）	○ 学生や若手社会人を対象にした未来のデジタル人材育成 ・ IoTスキルアップチャレンジ事業（委託）2,220千円 ○ 県内企業の高度ものづくり人材の育成 ・ 基盤・先進技術講座（謝礼等）1,698千円 ○ インターンシップや県内企業の魅力発信により学生人材の県内定着を促進 ・ インターンシップの実施（委託）27,633千円 ・ とっとり就活サイトの運営（委託）9,260千円 ○ 鳥取県版スタートアップエコシステムの醸成 ・ 地域起業家アクセラレーションプログラム実施経費（委託）3,843千円 等																																																										
効果	・令和6年度上半期の移住者数は1,054人となり、上半期の移住者数では過去最多となった。 ・令和元年度から実施しているとっとり副業・兼業プロジェクト「週1副社長」は、兼業・副業の募集企業数、応募者数ともに6年連続全国第1位となった。 ・ポリテクセンターと連携した製造現場で必要となる基盤技術講座やサプライチェーンマネジメントを担えるロジスティクス人材育成講座等の学習機会を提供し、ものづくり企業等の人材育成を推進した。 ・地域課題解決に資する社会的事業で起業を目指す起業家に対して事業推進経費の支援や、商工団体等の創業支援機関・金融機関・県内の起業支援専門家等と連携した支援を行うことにより、本県における起業家数の増加に繋がった。																																																										
KPIの達成状況	<table><tr><th rowspan="2">指標</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">事業開始前 (現時点)</th><th colspan="2">1年目（令和6年度）の増加分</th><th colspan="2">2年目（令和7年度）の増加分</th><th colspan="2">3年目（令和8年度）の増加分</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th></tr><tr><td>①地域へのU10ターン数</td><td>人</td><td>2,103</td><td>299</td><td>R7.7月頃 とりまとめ予定</td><td>319</td><td>-</td><td>320</td><td>-</td></tr><tr><td>②大学生の県内企業インターンシップ参加者数</td><td>人</td><td>315</td><td>50</td><td>△45</td><td>55</td><td>-</td><td>55</td><td>-</td></tr><tr><td>③高度ものづくり関連人材の育成者数（累計）</td><td>人</td><td>230</td><td>240</td><td>265</td><td>250</td><td>-</td><td>260</td><td>-</td></tr><tr><td>④地域課題解決型創業の輩出件数（累計）</td><td>件</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td><td>10</td><td>-</td><td>10</td><td>-</td></tr></table>								指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分		2年目（令和7年度）の増加分		3年目（令和8年度）の増加分		目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	①地域へのU10ターン数	人	2,103	299	R7.7月頃 とりまとめ予定	319	-	320	-	②大学生の県内企業インターンシップ参加者数	人	315	50	△45	55	-	55	-	③高度ものづくり関連人材の育成者数（累計）	人	230	240	265	250	-	260	-	④地域課題解決型創業の輩出件数（累計）	件	10	10	7	10	-	10	-
指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分		2年目（令和7年度）の増加分		3年目（令和8年度）の増加分																																																				
			目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値																																																			
①地域へのU10ターン数	人	2,103	299	R7.7月頃 とりまとめ予定	319	-	320	-																																																			
②大学生の県内企業インターンシップ参加者数	人	315	50	△45	55	-	55	-																																																			
③高度ものづくり関連人材の育成者数（累計）	人	230	240	265	250	-	260	-																																																			
④地域課題解決型創業の輩出件数（累計）	件	10	10	7	10	-	10	-																																																			
R7年度以降の取組	・若者目線での魅力発信を行い、本県の知名度向上を図る。 ・複数企業や地域の暮らしを体験できるパッケージ型プログラムを充実するとともに、県内高等教育機関と連携して学生に一層の参加を働きかける。 ・学生生活の初期段階でキャリア形成でとっとりインターンシップの活用を促進し、「暮らしやすインターンシップ」をはじめとする県内の企業や地域との接点を生み出すプログラムの提供や気軽なインターンシップ参加を意識づける。 ・移住定住・就職イベントや相談対応のほか、特に若者をターゲットとして東京や関西で鳥取と繋がるためのイベントを開催したりSNS等で魅力を発信する。 ・各企業におけるリスキリングを推進するとともに、地域課題解決に資する社会的事業を計画する起業を支援する。																																																										

3

事業概要【とっとりビジネス人材移住支援事業、地方就職学生支援事業】

令和6年度採択

事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費	457,207千円																																																																						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ、移住・起業・就業型	事業分野	－																																																																						
実績（R6）	○ 移住支援事業 ・移住支援金の支給 22,000千円 ○ マッチング支援事業 ・マッチングサイト開設・運用（委託） 9,735千円 ○ 起業支援事業 ・起業支援金の支給 12,308千円		 移住定住促進イベントの開催 Uターン者で梨を栽培																																																																						
効果	・東京・関西における移住・就職コーディネーターの配置や移住イベント開催等により、移住支援事業に基づく移住者数が増加した。 ・マッチングサイトをリニューアルしたことで、県外ビジネス人材からの求人応募件数が増加した。 ・地域課題解決につながる起業家に対する事業推進経費の支援や、商工団体等の創業支援機関・金融機関・県内の起業支援専門家等と連携した支援を行うことにより、本県における起業家数の増加に繋がった。																																																																								
KPIの達成状況	<table><tr><th rowspan="2">指標</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">事業開始前 (現時点)</th><th colspan="2">1年目（令和6年度） の増加分</th><th colspan="2">2年目（令和7年度） の増加分</th><th colspan="2">3年目（令和8年度） の増加分</th><th colspan="2">4年目（令和9年度） の増加分</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th><th>目標</th><th>実績値</th></tr><tr><td>①本移住事業に基づく移住者数</td><td>人</td><td>55</td><td>145</td><td>37</td><td>150</td><td>-</td><td>155</td><td>-</td><td>160</td><td>-</td></tr><tr><td>②本起業支援事業に基づく起業家数</td><td>人</td><td>10</td><td>10</td><td>7</td><td>15</td><td>-</td><td>15</td><td>-</td><td>20</td><td>-</td></tr><tr><td>③マッチングサイトに新たに掲載された求人数</td><td>件</td><td>120</td><td>500</td><td>62</td><td>500</td><td>-</td><td>500</td><td>-</td><td>500</td><td>-</td></tr><tr><td>④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数</td><td>世帯</td><td>8</td><td>15</td><td>8</td><td>20</td><td>-</td><td>25</td><td>-</td><td>30</td><td>-</td></tr></table>										指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度） の増加分		2年目（令和7年度） の増加分		3年目（令和8年度） の増加分		4年目（令和9年度） の増加分		目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	①本移住事業に基づく移住者数	人	55	145	37	150	-	155	-	160	-	②本起業支援事業に基づく起業家数	人	10	10	7	15	-	15	-	20	-	③マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	120	500	62	500	-	500	-	500	-	④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	世帯	8	15	8	20	-	25	-	30	-
指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度） の増加分		2年目（令和7年度） の増加分		3年目（令和8年度） の増加分		4年目（令和9年度） の増加分																																																																
			目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値	目標	実績値																																																															
①本移住事業に基づく移住者数	人	55	145	37	150	-	155	-	160	-																																																															
②本起業支援事業に基づく起業家数	人	10	10	7	15	-	15	-	20	-																																																															
③マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	120	500	62	500	-	500	-	500	-																																																															
④本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	世帯	8	15	8	20	-	25	-	30	-																																																															
R7年度以降の取組	・R7年度から新たに首都圏の学生が県内に移住・就職した際の移転費用（R6年度までは交通費のみ）を支給するとともに、引き続き都市部のビジネス人材を県内に誘致する仕組みづくりに取り組む。 ・ハローワークに求人掲載されている企業等に対して、「とっとりビジネス人材・求人紹介サイト」への登録を案内し、登録申請完了に至るまでの求人票作成のサポートをすることで、求人登録を促進する。																																																																								

4

事業計画期間	R6年度	期間中の総事業費	77,442千円																						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	観光分野																						
実績（R6）	○県内新聞、テレビ広告や万博開幕○○日前などの節目に合わせたイベントを開催 ・イベント開催費（委託）5,426千円 ○県内観光地情報やおすめルート、旅に必要な情報の一元化 ・ポータルサイトの構築・運営（委託）2,000千円 ○訪日外国人観光客の受入環境整備の充実 ・メニュー表示多言語化・食品ピクトグラム作成支援等（委託）8,720千円 等	機運醸成 ・節目に合わせたイベント ・新たな総合産業発信イベントによる県内企業の情報発信 誘客促進 ・訴求力のある広報 ・ポータルサイトの構築・運営 ・PR長材の作成 上質なコンテンツの造成 ・体験型コンテンツ造成 ・観光資源のメニュー造成 ・グルメメニューの開発 外国人観光客受入環境整備 ・公家Wi-Fi環境整備 ・多言語化、自動翻訳機能付加 ・県内移動手段の確保 大阪・関西万博でのPR ・関西パビリオン内の「鳥取県ゾーン」の設置 ・とっとりリアル・パビリオン(仮称)の実施 等 鳥取県の元気創出																							
効果	・令和6年1～10月までの主要観光地の観光入込客数が、昨年を大きく上回った。 ・「とっとりリアル・パビリオン」公式ホームページで、アドベンチャーや食など300以上の観光コンテンツを紹介したほか、水木しげる記念館のリニューアルや新型やくも号の運行開始などの好機を捉えた情報発信により、観光客数が増加した。 ・県外から誘致した企業との連携により、県内でも宇宙関連技術の研究開発や宇宙関連部品を製造する企業が出現しており、本県における宇宙産業の創出に繋がった。																								
KPIの達成状況	<table><tr><th rowspan="2">指標</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">事業開始前 (現時点)</th><th colspan="2">1年目（令和6年度）の増加分</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績値</th></tr><tr><td>①観光入込客数（実人数）</td><td>千人</td><td>7,954</td><td>164.6</td><td>R7.8月頃とりまとめ予定</td></tr><tr><td>②外国人延べ宿泊者数（延べ人数）</td><td>千人</td><td>12.39</td><td>137.61</td><td>144.27</td></tr><tr><td>③宇宙産業に新たに参入した企業数</td><td>社</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td></tr></table>			指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分		目標	実績値	①観光入込客数（実人数）	千人	7,954	164.6	R7.8月頃とりまとめ予定	②外国人延べ宿泊者数（延べ人数）	千人	12.39	137.61	144.27	③宇宙産業に新たに参入した企業数	社	5	3	3
指標	単位	事業開始前 (現時点)	1年目（令和6年度）の増加分																						
			目標	実績値																					
①観光入込客数（実人数）	千人	7,954	164.6	R7.8月頃とりまとめ予定																					
②外国人延べ宿泊者数（延べ人数）	千人	12.39	137.61	144.27																					
③宇宙産業に新たに参入した企業数	社	5	3	3																					

5

他自治体との地域間連携事業

【「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業】

令和5年度採択

事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費	371,354千円 ※うち鳥取県分：65,501千円
申請者	鳥取市、鳥取県	事業分野	まちづくり分野
実績（R6）	○舞台芸術を核とした交流の拠点づくり ・拠点整備等（補助金23,903千円） ○舞台芸術を核とした人づくり ・演劇塾運営事業（委託1,075千円） ○舞台芸術を核とした賑わいづくり ・演劇×マルシェ開催事業（委託2,000千円、補助金1,000千円） ・文化芸術観光創造事業（委託1,235千円、補助金2,313千円） 等		
効果	・子どもの文化芸術活動の取組や挑戦を支援する様々な施策を通じて、子どもたちの活動の充実や意欲の向上が図られ、新たな取組（舞台公演、コンクール等）や海外公演やコンクールへの参加など、多様な才能の発掘や担い手育成等につながった。 ・県内各地で開催されるアートイベントや芸術祭を支援し、地域の特性やポテンシャルを活かしつつ、文化芸術を通じた地域の活性化が促進した。		
R7年度以降の取組	・来訪者が安全・安心・快適に過ごすことができる「みんなの居場所」をめざし施設を整備し、演劇以外の目的での来訪者の増加に向け、周辺環境を整備する。 ・日本の演劇文化の将来を担う優れた人材の発掘・育成を図るため、幅広い世代が学べる演劇塾の運営支援などを行うとともに、演劇と連携したマルシェ開催や観光体験メニューの商品化、将来的な地域への継続的な訪問に繋げる魅力を発信する。		

【温泉文化の振興を呼び水とした地場産業・地域の活性化】

令和6年度採択

事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	656,092千円 ※うち鳥取県分：9,000千円
申請者	群馬県、中之条町、鳥取県	事業分野	まちづくり分野
実績（R6）	○温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進事業 ・機運醸成事業（委託等）75,674千円 ・温泉文化の振興に係る普及啓発事業（負担金等）6,000千円 ※うち、鳥取県負担3,000千円 ○地場産業・地域の活性化事業 ・地域の稼ぐ力向上支援事業（委託）61,094千円 ・地場産業を支える担い手確保事業（委託等）9,996千円 等		
効果	・ユネスコ無形文化遺産登録への機運醸成とともに、温泉文化の高付加価値化を図った。		
R7年度以降の取組	・普及啓発事業を継続し、温泉地の現地調査などを実施する。 ・日本の「温泉文化」のユネスコ・無形文化遺産への登録に向けて活動する知事の会と連携した普及啓発事業（イベント）の開催を検討する。		

6